

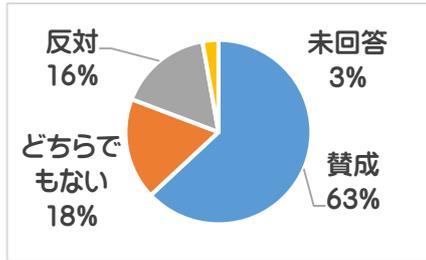
まなびタウンリニューアル説明会における意見及びアンケート結果（概要）

5/23住民説明会にて実施（参加者100名）

アンケート回収数	73
----------	----

基本設計案について（回答73）

回答数	選択肢
46	賛成
13	どちらでもない
12	反対
2	未回答



どちらでもない・反対の理由（3つまで）

回答数	選択肢
15	工事費が高い
7	不具合だけ修繕すればいい
6	図書館の本が全館配架になること
6	魅力を感じない
3	外観が変わりすぎている
2	教育委員会事務局がまなびタウンから移転すること
15	その他（主なものは下記のとおり）

- ・ホールの機能（カウベルと同等の機能・規模が反映されていない）
- ・図書館機能に偏り過ぎて、生涯学習機能が薄れている
- ・町民負担（税金）と魅力が割に合わない（費用対効果に疑問）
- ・箱をつくっても人は集まらない（ターゲット・目的が不明確）
- ・図書館は交流するところではなく、静かに過ごすべき など

【主な自由意見】 ●・・・説明会においていただいた意見

計画面 運用面	<ul style="list-style-type: none"> ・未来を担う子どもたちを中心に据えた計画である。今までの経過がよくわかった。 ・ギャラリー、カフェなどのスペースは民間活力を利用すべき ●運営体制を提示してほしい（図書館職員だけでは運営できないのでは） ・将来的な検討はしているのか（高齢者のアクセス問題、集える場は分散してあってもよい） ●ここまでの大規模改修は本当に必要なのか（WSがすべてではない） ●2月の区長会において提案がなかったが、区長の意見は聞いているか ・町民の利用料を安く ・もう少し議論が必要 ●利用率の目標値、図書館の利用目標はあるのか
機能面	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の活用が見えてこない（具体的な利用方法を示してほしい） ・各スペースの使用方法について、柔軟な対応を検討してほしい ●文化財の展示を確保（まなタンで歴史文化財がすべてわかるように） ・設備はできるだけ簡素にすべき ●現在の利用団体の継続利用を可能にすること（陶芸はできなくなるのか） ・オンライン会議などをしやすく（デジタル化）
設計面	<ul style="list-style-type: none"> ●テラスについて（積雪対策、強風対策、紫外線対策、プライバシー対策を検討すること） ●ホールの拡充・充実（カウベルと同等の機能を求める。演芸や合唱などの発表ができるホール） ●災害対策（1階の機械室の水害対策、全館図書地震時の安全性） ●自然エネルギーの検討はしたのか ・バリアフリー対策（跨線橋南側にエレベーター、入口をわかりやすく、広く・近い駐車場） ・減築の発想がすばらしい ・何より安全安心な建物へ

まなびタウンとうはくリニューアル

改修の必要性

まなびタウンとうはく（生涯学習センター）は平成9年に建設され、24年が経過し、空調をはじめ老朽化による多くの不具合が生じており、改修が必要になってきています。

①最低限の改修

- ◆ リニューアルに関係なく、改修が必要となる設備



- ◆ 老朽化により近い将来改修が必要となる設備
トイレ（衛生設備）、照明設備、自動ドア

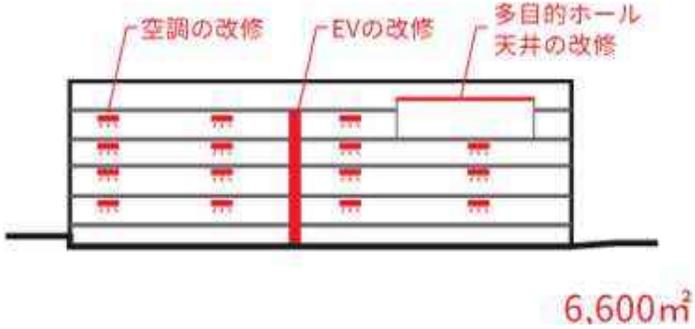
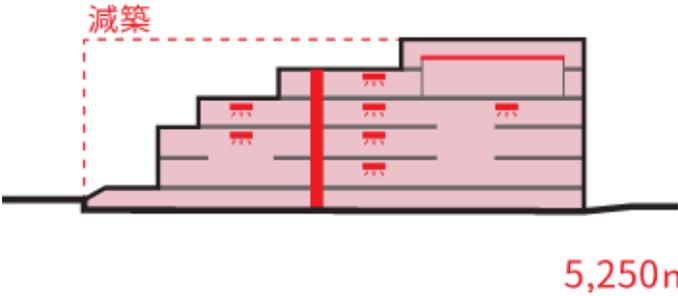
②改修・改善を求められていること

- ◆ 多目的ホールの充実
（音響設備、ステージ、防音設備）
- ◆ 機械設備全般のデジタル化
- ◆ 図書館の充実
（閲覧、学習、子どもスペースの確保・充実）
- ◆ 階段、廊下の暗さと閉塞感
- ◆ エントランスの利便性（入りやすい玄関）
- ◆ 利用率の改善
- ◆ 駅との連携
- ◆ 駅前周辺の活性化



- ※1 エレベーターに係る既存不適格のうち、戸開走行保護装置（二重ブレーキ）の設置については、平成24年4月27日付で国土交通省住宅局建築指導課長から、都道府県建築主務部長宛に通知があり、「設置義務の対象ではないが、安全性確保のため積極的な設置を促進する必要がある。」とされている。
鳥取県においては、県有施設中長期計画に基づき、緊急性の高い設備から順次改修を行っている。
- ※2 建築基準法改正（H28.6.1施行）を受けて、国土交通省住宅局建築指導課長から各都道府県建築行政主務部長宛へ通知があり、「熊本地震における天井被害の状況を鑑み、増改築等の機会を待たずして特定天井の改修を行うことが望まれる。特に、避難所となりうる施設や劇場等の施設については、対策の促進を図る必要がある。」とされている。
その後、鳥取県では同年10月21日に発生した鳥取県中部地震により、倉吉未来中心の天井の一部が落下したことを受けて、特定天井を有する県有の14施設を点検し、順次改修を行っている。

改修案比較

	<p style="text-align: center;">A. 最低限の改修 (①)</p>  <p style="text-align: right; color: red;">6,600m²</p>	<p style="text-align: center;">B. 基本設計案 (① + ②)</p>  <p style="text-align: right; color: red;">5,250m²</p>
<p>工事費</p>	<p style="text-align: center;">約3.3億円</p>	<p style="text-align: center;">約11.7億円</p>
<p>町の負担額</p>	<p style="text-align: center;">約3.3億円 (必要経費を随時単年度で支払)</p>	<p style="text-align: center;">約5億 (補助金等を活用) (うち4.3億円は20年かけて返還)</p>
<p>年間維持費</p>	<p style="text-align: center;">約2400万円/年</p>	<p style="text-align: center;">約2000万円/年</p>
<p>備考</p>	<p>不具合の修繕と安全性への適合のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エアコン改修 (1.8億円) ● エレベーター (1.3億円) ● 吊り天井の改修 (0.2億円) ● 照明、トイレ、自動ドアも必要に応じて改修 (費用は別途) <p>上記以外は変更なし (ホールもそのまま)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● Aの改修に加えて、ホールの充実、子どもの遊び場など住民ニーズに対応した施設へ ● 多世代がつどい、交流する複合施設へ ● 長寿命化へ (定期的に改修をすることで施設の寿命が延び、トータルの改修コストも削減) ● ダウンサイジング (効果：工事費、維持費が削減、人口規模との適正化)

基本設計案

図書館

ゆっくり読書
親子で楽しめる
まちの情報の集約・発信
会話ができる図書館

子どもの遊び場

雨の日の遊び場
家族みんなで楽しめる場

賑わい

安心して集えるテラス
イベントができる
スペース
多彩なギャラリー
スペース

フリースペース

開放的な空間
自習スペース
気軽に打合せ・会話が
できる場所
コワーキングスペース

駅・外とのつながり

駅の待合機能
入りやすいエントランス
中の様子が見える

5つのキーワード

安心・健康・交流・活動・学び

ホールの充実

音響・防音・ステージ
の機能向上
文化活動発表の場

趣味を見つける

施設内での多様な町民活
動を可視化し、利用を促
す仕掛け



その他の事業

項目	費用 (千円)	内容
教育委員会事務局移転 (移転先改修費用)	11,000	移転先：保健センター1階 保健センターに移転することで、関係課との迅速な連携が可能となり、特に子育て・教育面については一体的な支援が図れる。
一部の文化財移転	2,000	文化財をまなびタウンと白鳳館で分散して展示・保管。まなびタウンで図書との一体型展示を行うことで、気軽に文化財へ触れる環境が整い、また展示物を定期的に入れ替えることで、多種多様な展示・イベントが可能となる。
休館時の図書移動 (移動費用)	5,000	まなびタウン休館中は図書を旧安田小学校へ仮置きし、図書の貸し出しは分館のみで行う。
合計	18,000	